

一步一步前進 No.34

四万十市立蕨岡中学校通信「さわらび」

平成29年1月24日(火)

文責:山脇

2月行事予定

【1月】

28日(土) 小学6年生体験入学・保護者説明会
(第8回土曜授業)

30日(月) 生徒集会 SC勤務日

【2月】

1日(水) 職員会・校内研

2日(木) ALT勤務日

4日(土) 宿毛招待バレー大会
池上先生結婚披露宴

【池上先生ご結婚おめでとうございます】

本校の池上喬広先生が2月4日(土)に結婚披露宴を行います。年齢は27歳とまだまだ若いですが、よき伴侶を得て、今後ますますのご活躍を期待します。

披露宴は実家が香美市なので高知市で行います。遠方で迷惑をかけるので生徒や保護者の皆様のご招待は遠慮させていただきますようですが、披露宴の様子は、学校通信でも紹介したいと思っています。

5日(日) 道徳参観日・車いすバスケット講演等
(第9回土曜授業)

学校運営協議会

四万十市いじめ問題講演会 13:30~

6日(月) ノビノビ役員会 SC勤務日

7日(火) SHL勤務日

8日(水) 公立高校A日程出願(~2/10)

職員会・校内研

9日(木) ALT勤務日

3年期末テスト発表

10日(金) 専門部・委員会

11日(土) 建国記念日(祝日)

県ソフト強化大会(春野)~12日

13日(月) 生徒集会 SC勤務日

14日(火) 全校読み聞かせ

PTA役員会 19:00~

15日(水) 公立高校A日程志願先変更(~2/17)

職員会・校内研

16日(木) 3年期末テスト1日目 ALT勤務日

ノビノビ会年度末総会 19:00~

17日(金) 3年期末テスト2日目

21日(火) SHL勤務日

22日(水) 職員会・校内研

24日(金) 1・2年期末テスト発表

■2/24~3/3は部活動停止

専門部・委員会

27日(月) 生徒集会

28日(火) SC勤務日

【3月】(中旬までの主なもの)

1日(水) 公立高校卒業式 職員会・校内研

2日(木) ALT勤務日

3日(金)~4日(土) 1. 2年期末テスト

4日(土) 公立高校A日程学力検査

5日(日) 公立高校A日程面接

6日(月) 4日(土)の振替休日

7日(火) お別れ遠足

9日(木) // 予備日

12日(日) 蕨岡中学校卒業式

13日(月) 12日(日)の振替休日

14日(火) 公立高校A日程合格発表



1月23日の雪景色(蕨岡中グラウンド)

【主な行事等の詳細】

①小学生体験入学・保護者説明会

1月28日(土)に第8回土曜授業として行い、小学校6年生とその保護者が参加して開催します。学校説明や中学生の総合的な学習の時間の発表、施設見学等を行います。時間は午前8時45分~11時00分です。

②ノビノビ会・PTA役員会・学校運営協議会関係

わらたけノビノビ会役員会を2月6日(月)午後4時から、年度末総会を2月16日(木)午後7時から開催します。(どちらも蕨岡中学校で行います)

PTA役員会は2月14日(火)午後7時から開催します。

学校運営協議会は2月5日(日)の道徳参観日・車いすバスケット講演会の後、午前11時から蕨岡中学校3階視聴覚室で開催します。

③公立高等学校入学選抜に関して

一昨年度から公立高等学校の入学選抜制度が変更となり、A日程で全日制の入学選抜(全定員)を行い、B日程でA日程において定員の満たなかった学校・学科が再度入学選抜を行うとともに、定時制の入学選抜が行われます。

【公立学校入学選抜A日程】

出願期間	2月 8日(水)～10日(金)
志願先変更期間	2月15日(水)～17日(金)
調査書等提出	2月20日(月)～23日(木)
学力検査・面接等	3月 4日(土)・5日(日)
合格者発表	3月14日(火) 午前9時
※B日程以降は略	

④道徳参観日、車椅子バスケット講演&体験

2月5日(日)に、第9回土曜授業(今年度最後の土曜授業となります)として、道徳参観日、車椅子バスケット講演・体験を行います。

8:45～ 9:35	道徳授業(各教室)
9:45～10:45	車いすバスケット講演・体験

講演・体験は、茨岡中学校体育館において小中学校合同で開催します。どなたでも無料で参加できますので、ご家族、地域、職場等の皆様にも声をかけていただき、たくさんの方のご来場をお待ちしています。

「稀勢の里」優勝、横綱昇進おめでとう

ここ数日、とにかく寒い日が続き、雪まで降りました。今日の通勤時の気温は、なんと-3℃で、とてつもなく低く、橋の上は凍結し、かなり危険な状態でした。

インフルエンザや嘔吐下痢症等も流行しており、前回の学校通信でも紹介しましたが、予防対策を十分するようにしましょう。

こういう寒い話題ばかりでしたが、すごく心の温まることもありました。それは、大相撲の大関「稀勢の里」が初場所において14勝1敗で優勝、更に19年ぶりの日本出身の横綱誕生という嬉しいニュースです。

稀勢の里は茨城県出身で中学校時代野球部に所属し、エースで4番として活躍し、楽天イーグルスのピッチャー美馬と投げ合ったこともあるそうです。同県の野球名門校常総学院からの勧誘もあったそうですが、卒業と同時に(15歳)に、たくさんの部屋の選択肢があったようですが、わざわざ当時一番厳しいと言われた鳴戸親方(元横綱隆の里)の部屋に入門したそうです。こういう選択が15歳にして稀勢の里らしいですよえ。

そして17歳9カ月と、あの貴乃花に次ぐ史上2番目の最年少記録で十両昇進、わずか3場所で十両を通過し(ちなみに豊の島は2場所で通過しました)、18歳3カ月と、これまた貴乃花に次ぐ最年少記録で幕内に昇進しました。私事ですが、この頃から稀勢の里の馬力に惹かれ大ファンになりました。

ところがここから苦闘が続きます。何度も大関挑戦に失敗し、その渦中には恩師の鳴戸親方の急逝、そして部屋も変わるということもありました。

何とか、新入幕から42場所(7年間)かけて大関昇進を果たしますが、この記録は史上5位のスロー記録でした。

大関昇進後も得意の左差しが決まれば角界一で、過去最強の大関だと思いましたが、なぜかここの一番で負け続け、優勝0、綱取りにも6回チャレンジし失敗。優勝次点は12回、何と昨年は、優勝なしの年間最多勝も獲得しました。

稀勢の里の優勝、横綱昇進は私(いや日本中)の夢でした。夢は夢で終わるのか、しかし、最強の大関で、これだけ楽しませてくれているんだからいいじゃないかとあきらめの気持ちも出ていましたが、とうとうやってくれました。

稀勢の里は、鳴戸親方の指導もあり、誰よりも厳しい稽古をしてきました。また、どこか痛くてもケガをしてもテーピングなどはしません。過去に一度も彼が体に何か巻いたり張ったりして土俵に上がったのを見たことがありません。ましてや、それを言葉にして言うこともありません。立ち会いでは常に真っ向勝負、逃げたりすることはありません。彼の相撲に対する美学は、私の美学にもなっています。

1月21日(土)、白鵬が敗れ、初土俵から89場所(15年)、大関昇進後31場所(5年)という長い年月がたったの優勝が決定しました。常に期待とプレッシャー、厳しい稽古に耐えてきた日々が走馬灯のようによみがえったのか、稀勢の里の右目から一粒の涙が流れました。この瞬間、思わず私も号泣してしまいました。

翌日の優勝後のインタビューで、**「期待を裏切った日々が続き、逃げ出したいくなる時もあった。しかし、たくさんの人の支えの中あきらめてはいけなかつつも思った」**

「人に負けたくない、誰よりも苦しい稽古をしてきた。だから俺は負けたくないだといつも思うようにしてきた。我慢が一番大事だと思う」

「まだまだ強くない。稽古をしっかりし、もっともっと精進していきたい」と語っていました。

素晴らしいですね。横綱「稀勢の里」に期待です。苦勞してきた者だから言える言葉です。学ぶべきことがたくさん入っている重い言葉だと思います。

しかし、優勝、横綱昇進を夢見て応援してきた私自身は、嬉しさの半面、ぽっかり穴のあいたような状態で何か不思議な感じでした。

私見ばかり述べて、ついつい長くなり申し訳ありませんでした。

